

令和7年度岩倉南小

学校運営協議会ニュース NO. 2

「どんな姿が見られたら、うれしい？」

令和7年6月20日

岩倉南小学校学校運営協議会理事会

会 長 二股 茂

京都市立岩倉南小学校

校 長 石田 和三

学校運営協議会は、理事会と企画推進委員会で構成されています。理事会と企画推進委員会には、次のような目的や役割があります。

【理事会】

「学校教育目標」や「目指す子ども像」等をはじめとする「学校運営の基本方針」を承認するとともに、学校や子どもたちが抱える課題を解決するための方策を議論する組織です。

【企画推進委員会】

理事会での議論を踏まえ、地域として学校とともにどのような具体的活動に取り組むかを協議し、企画・運営する組織です。活動内容の検討・企画をはじめ、活動場所や協力していただける方の手配、当日の運営等を行います。

本校では、子どもたちの学習支援を中心に具体的活動を協議しています。

6月11日（水）、第1回企画推進委員会をふれあいサロンで行いました。教職員と企画推進委員が初めて顔を合わせ場ですので、まずは「お互いのことを知り合う」ことに重点を置きました。そのうえで、学習を通して「どんな子どもたちの姿が見られたらうれしいか」を一緒に考えました。





以下は、「学習を通してどんな子どもたちの姿が見られたらうれしい？」というテーマでの対話で出てきたキーワードを、生成 AI を使って試しに分類してみたものです。

【学びに向かう力・主体的な学び】

意欲をもって学習する、探究的に学ぶ、ひらめく・わかる、学習を深掘りする
新しいことにチャレンジする、自分が「やる」と決めて行動する、学ぶことを楽しむ
自分から挑戦してみる、楽しんでやってみる、一生懸命に取り組む、夢中になる 等

【人との関わり・社会性】

やさしい声かけ、自分から「ありがとう」を言っている、友だちに優しく接している
互いに思い合う、友だちと助け合う、いろいろな人と交流する、笑顔で挨拶 等

【自己肯定感・成長の実感】

できなかったことができるようになる、「こうしたい」が自分で言える、変化に気付く
まわりの子どもの変化や成長を自分の喜びとできる、生き生きした目、わくわく 等

【情緒・感情の安定】

笑顔、幸せそう、笑顔で夢がいっぱい、笑ったり真剣になったり、元気

【地域とのつながり】

地域のすてきなところを見つけて好きになる

これらの姿は、学びの中で育まれる多様な成長や変化を表しています。

対話の中身も踏まえて、最後は、各学年に分かれて、具体的な取組について考えました。



企画推進委員会に続き、第2回理事会を開催しました。理事会では、学校評価の材料とする子どもや保護者へのアンケート項目の内容について、話し合いました。

今後の運営協議会ニュースでは、学校評価の結果や企画推進委員会と連携した学習の様子について、お伝えしていく予定です。

- ・やさしい声かけ
- ・自分から「ありがとう」を言っている
- ・意欲をもって学習する
- ・できないことができるようになる
- ・互いに思い合う
- ・探究的に学ぶ
- ・笑っている
- ・食の大切さを知り、自分で食を選ぶ
- ・友だちに優しく接している
- ・ひらめく、わかる
- ・みんなで同じことを笑っている
- ・心を閉ざしがちの子が話しかけてくれる
- ・笑顔で夢がいっぱい
- ・幸せそう
- ・笑顔
- ・新しいことにチャレンジする
- ・いろいろな人と交流する
- ・まわりの子どもの変化や成長を自分の喜びとできる
- ・自分が「やる」と決めて行動している
- ・笑顔
- ・できなかったことができるようになる
- ・自分で「こうしたい」が言える
- ・元気で友だちがたくさんいる
- ・一生懸命に取り組む
- ・自分から挑戦してみる
- ・友だちと助け合う
- ・楽しんでやってみる
- ・変化に気付く
- ・生き生きした目、パワー
- ・わくわくしている姿
- ・地域のすてきなところを見つけて好きになる
- ・笑顔
- ・学ぶことが楽しい
- ・笑顔
- ・自ら行動する
- ・友だちのことを思いやる
- ・笑ったり真剣になったり
- ・夢中になる
- ・笑顔で挨拶
- ・学習を深掘りする質問
- ・挨拶してくれる

とても素敵な視点ですね！ご提示いただいた子どもたちの姿は、学びの中で育まれる多様な成長や変化を表しています。これらを分類することで、教育の目指す方向性や子どもたちの育ちをより明確に捉えることができます。

以下のようなカテゴリーに分類することが考えられます：

【学びに向かう力・主体的な学び】

- 意欲をもって学習する
 - 探究的に学ぶ
 - ひらめく、わかる
 - 新しいことにチャレンジする
 - 自分が「やる」と決めて行動している
 - 自分から挑戦してみる
 - 楽しんでやってみる
 - 学ぶことが楽しい
 - 自ら行動する
 - 学習を深掘りする質問
 - 一生懸命に取り組む
 - 夢中になる
-

【人との関わり・社会性】

- やさしい声かけ
 - 自分から「ありがとう」を言っている
 - 互いに思い合う
 - 友だちに優しく接している
 - みんなで同じことを笑っている
 - 心を閉ざしがちの子が話しかけてくれる
 - いろいろな人と交流する
 - 友だちと助け合う
 - 友だちのことを思いやる
 - 挨拶してくれる
 - 笑顔で挨拶
-

【自己肯定感・成長の実感】

- できないことができるようになる
- できなかったことができるようになる
- 自分で「こうしたい」が言える
- 変化に気付く
- まわりの子どもの変化や成長を自分の喜びとできる
- 生き生きした目、パワー
- わくわくしている姿
- 自分で食を選ぶ

【情緒・感情の安定】

- 笑顔（複数回登場）
- 笑っている
- 幸せそう
- 笑顔で夢がいっぱい
- 笑ったり真剣になったり
- 元気で友だちがたくさんいる

【地域とのつながり・生活力】

- 食の大切さを知る
- 地域のすてきなところを見つけて好きになる

このように分類することで、子どもたちの「学びの姿」を多面的に捉えることができます。もし、学校の教育目標やカリキュラムと照らし合わせてさらに整理したい場合は、それに合わせた分類も可能です。

ご希望があれば、これを図や表にまとめることもできますよ。どうでしょうか？

ありがとうございます。ご提示いただいた条件：

- **教育の目的**：「誰もが幸せを実感できる今と社会をつくる」
- **大切にしたいこと**：「学習者中心の学びの実現」

この2つを軸に、先ほど分類した子どもたちの姿をもとに教育の方向性を定めると、以下のように整理できます。

🌟 教育の方向性（ビジョン）

「ともに学び、ともに育ち、幸せを実感できる学びの共同体をつくる」

🎯 教育の柱（重点的に育てたい力）

1. 自己を見つめ、主体的に学ぶ力（自己実現）

- 自分で「こうしたい」と思い、行動に移す力
- わからないことに向き合い、探究し続ける姿勢
- できなかったことができるようになる喜びを感じる力

2. 他者とながら、共に生きる力（共生）

- 思いやりや感謝の気持ちをもって関わる力
- 多様な人と協働し、互いの違いを認め合う力
- 地域や社会とのつながりを大切にする姿勢

3. 感性を育み、幸せを感じる力（幸福感）

- 笑顔やわくわく、夢中になる体験を通して心を動かす
 - 自分や他者の成長を喜び合う
 - 日常の中にある幸せを見つける感性
-

🌟 教育の実現に向けたキーワード

- **学習者中心**：子ども一人ひとりの思いや関心を起点に学びを構築
 - **探究的な学び**：問いをもち、深く考え、仲間と対話しながら学ぶ
 - **関係性の中で育つ**：安心できる人間関係の中で自己を発揮
 - **地域とともに**：地域の魅力や課題を学びに取り入れ、社会とつながる
-

🌟 実現のための具体的なアプローチ（例）

- 子どもが問いを立てる「探究の時間」の充実
 - 「ありがとう」や「笑顔」があふれる教室づくり
 - 子ども同士の対話や協働を重視した授業デザイン
 - 地域の人や場所とつながる学習活動の展開
 - 子どもの「できた！」を見える化し、共有する仕組み
-

このように、子どもたちの姿から出発して、教育の目的と大切にしたいことを結びつけることで、学校全体の教育ビジョンやカリキュラム・マネジメントの方向性が明確になります。ご希望があれば、これを図式化したり、学校の教育目標案として文章化したりもできます。どのような形にまとめたいですか？

